

蔵の街

ふれあいバス
市街地北部循環線で行く

— 蔵の街の魅力たっぷりのんびり散歩コース —



行き

東回り

栃木駅(北口)	11:20	13:20
観光協会前	11:23	13:23

西回り

栃木駅(北口)	10:20	12:20
観光協会前	10:23	12:23

帰り

東回り

観光協会前	13:55	15:55
栃木駅(北口)	14:00	16:00

西回り

観光協会前	14:55	16:55
栃木駅(北口)	15:00	17:00



©Open Street Map contributors
www.openstreetmap.org/copyright

各施設の見どころは裏面へ ▶

蔵の街へようこそ！！

蔵の街として知られる栃木市は、江戸時代から市の中心部を流れる巴波川を利用した江戸との交易によって栄えてきました。市内には、江戸、明治、大正とその時代を語り継ぐ歴史的な建造物が数多く残されています。街の魅力は、歴史と文化が調和し日常生活の中に息づいていること。きっと訪れる人に懐かしさや安らぎを与えてくれるでしょう。



① とちぎの宝物、江戸型人形山車

山車会館には、絢爛豪華な江戸型人形山車が展示されています。光と音と映像を交え、とちぎ秋まつりを再現します。

② おたすけ蔵の勇壮な外観

江戸時代の蔵で、蔵の街市民ギャラリーとして活用しています。市民の方による作品等の展示を行っています。



③ 両袖切妻造の横山郷土館

建物の右半分が麻問屋、左半分で銀行を営んでいました。両袖切妻造と呼ばれる貴重な建物内は、当時の面影を偲ばせており、ドラマのロケ地に使われることも。

④ 旧県庁跡地唯一の遺構

明治6年に宇都宮県が栃木県に統合され県庁所在地となりました。その堀が今も残り、県庁堀と呼ばれて多くの鯉が群れ泳いでいます。



⑤ 美術館 文学館

美術館では、市ゆかりの作家の作品をはじめ、国内外の優れた作品を展覧します。文学館では、山本有三、吉屋信子、柴田トヨの3人を中心に文学や先人に関する展示等を行います。

⑥ 幸来橋から見る白壁と黒堀

蔵の街を代表する景観のひとつです。シャッターポイント！お舟が浮かぶ風景は、江戸時代にタイムスリップ。



⑦ 経済基盤を築いた巴波川の舟行

江戸との交易で栄えた栃木宿、舟から見る景色は違った趣があります。船頭さんが、とちぎの舟行の歴史や船頭歌をご披露します。